

あっという間に6月になりました。先月は、梅雨の晴れ間に学院内遠足やお散歩に出かけたり、園庭で虫を見つたり、砂場でままごとをしたり、自転車に乗ったり・・・戸外でも遊ぶことが出来ました。

これまでも毎月、各クラスで絵本を読んできましたが、今年度もスタートしました。子ども達が喜んで迎えてくれ、私にとっても楽しい時間となっています。読んだ本はこのように紹介していきます。

### ～読んだ絵本の紹介～

(そら組) みつ すきですか

ごんもり なつこ さく

福音館書店

べにしじみ(ちょうちょ)が、「おいしい みつは どこかな」と探しています。探す中で、花に集まっている他の昆虫に「みつ、すきですか?」とたずねます。すると、「いいえ、はなびらがすきです。」「いいえ、くさのしるがすきです。」「はっば。」「あぶらむし。」と、それぞれに違う答え。

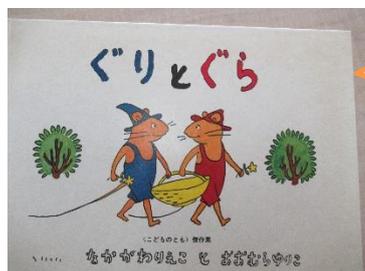
単純なようで、生物に興味を持てるような、なかなか深い内容でしたので、年長組で読みました。

これから、園庭でも色々な虫たちに出会うことでしょう。



(にじ組) ぐりとぐら

作者 なかがわりえこ と おおむらゆりこ 福音館書店



私が小さい頃、一番といってもいいくらい好きだった絵本です。母もこの絵本を見ると「何十回も読んだ!」と懐かしがります。その当時の幼い私にとって何が魅力だったのかと思いますが、今でも読むと楽しくなるので、理屈ではないのでしょうか。

子ども達は「見たことある〜。」「知っとる〜。」と最初はちょっと他の本がいいみたいなのを言っていました。読み進めるとしーんと、絵本の世界に入り込み、楽しんでくれている表情でした。長年愛される本は、やはりいいですね。

(年少組) かくれんぼしましよ

筒井頼子 さく 山内ふじ江 え 福音館書店

かくれんぼしましよ かくれんぼしましよ だれかみつめてくれるかな…。

嬉しそうに畑の中に隠れる女の子。

はち、とかげ、ねこ、うしが通り過ぎて行きます。うしが登場したところで「おとうさんみたいね〜。どこに行くとかな?お仕事かな…。」とある男の子。そのなんとも可愛くて面白い発言に、思わず吹き出しそうになりました。うしの大きさから、そう感じたのかな…。子どもの発想は楽しいですね。

最後は、寝てしまっていて…。お母さんに見つかります♡



梅雨の季節、親子でもぜひ、絵本の世界を楽しんでくださいね。